

「感性の部屋」と一点の絵

広島県安芸郡在住 常本英昭

「シャルトル遠望」、私が、この絵と出会ったのは、私がある銀行協会で仕事をしていた、毎日、昼食後の散歩ルートにしていた、広島そごうのデパートの画廊に立ち寄った時でした。確か、週末近くでしたが、ほのぼのとした感じの絵が目にとまりました。全体の雰囲気なんとなく優しく、心が癒されるような気がしてきました。その中で、一枚の絵が私の目を捉えました。柔らかい黄色の背景の中に教会の遠望。6号でありながら、大きな感じを与えてくれる絵でした。以前、トルコ旅行をしていて、一面、ひまわり畑の中の一歩道を、バスで長時間ドライブした時のことを思い出して、「長身の髭をたくわえた柔和な中年の方」に聞いたところ、麦畑で、秋の風景だとのことでした。この時が森崎修太画伯との初めての出会いでした。この個展は画伯にとって、広島で初めての個展だった由。私は自宅で感性の部屋と自称している、ささやかなオーデイオルームにどうしても架けておきたくなり、衝動買いしました。後で家内に見せたところ、めったに、意見が合わない二人がすんなり了解し、家内も、その後は画伯の絵のファンになりました。その後の、広島での森崎画伯の個展は、欠かさず訪れています。一昨年9月、パリからロンドンに列車で旅行した折、車窓から、左手方向を見ながら、一面畑の遠くに教会の尖塔を見出したとき、この「シャルトル遠望」を連想した記憶が蘇ります。私の「癒しの絵」の一枚として、大切にしています。



平成 14 年 9 月 11 日 記

DM作品・紹介 I

風景も人の心も美しく



ゆったりとした水平線の向こうに沈む夕日には、すべてを包み込む優しさエネルギーを感じます。人も地球もそうあって欲しい・・・作家の思いが伝わってきます。

「オレンジに染まるカダケス」20F



「娘達との夢の共有」

広島市安佐南区在住 藤田淑子

先生と私との出会いは、そごう広島店での「第1回森崎修太展」の時でした。色彩の美しさと明るさ、スッキリしたのびやかな作品は私の心に夢と感動を与えてくれました。そしてその時私の好きな1枚に出会うことができました。「リスボンの風景」です！ オレンジ系の小作品ですがその色彩もひと口に



<オレンジ>とは言い表せない微妙に異なった深い色合いの優しいオレンジに全体が明るい心地よい作品で1年中リビングや玄関で家族の和みの1枚になっています。私の娘がドイツに在住していますので、ヨーロッパの数カ所を巡ってきた感想と先生の海外でのご経験など初めてお会いした方とは思えないくらい話は尽きませんでした。

そして、先生の温厚で誠実 親しみやすいお人柄が作品を益々好きにさせてくれました。遂に、末娘の結婚にと・・・私も娘も大好きなブルーの大きい絵を買い込んでその時の出番を待っています。メキシコのミュージアムに先生の作品が収められたと伺いました。本当に素晴らしい事と心から慶んでおりますと共に、益々のご活躍を期待しています。



2002年 初秋



広島



「森崎修太氏との出逢いと想い」

広島市二日市市在住 田中 俊

初めて森崎氏と御縁をいただいたのが四年前の夏の終わりだったと思います。妻と買い物に出掛け偶然デパートの画廊に立ち寄った時でした。まず目に入ったのが朱赤の夕焼けを描いた作品と髭をたくわえた長身の物静かな紳士がそこにいらした事を印象強く記憶しています。ポスボラス海峡対岸の先端にあるモスク頭上に中天の月が海面を照らしている作品は色彩も構図もとても気に入ってしまいました。以来その作品は私達の居間に飾られ、殆んど毎日何度か対面、大変楽しませて頂いています。不思議なもので四年もの間、接していますと、この作品から様々なものを与えて貰っています。安らぎ、勇気、抽象的表現ですが私達を揺り動かしたり、時には鎮静化させたり、又 しばらく留守の間に対面すると、とても懐かしい気持ちにさせてくれます。二年前には二度目の御縁を頂きましたが、その時、温厚なお人柄から想像し難い強烈なエネルギーを感じる作品を拝見する事になりました。森崎氏のこれほどまでに私達を惹きつける作品を創作される事に驚いてい



ますが、きっと秘めた情熱とエネルギーを創作に注がれ、又、常にそれを補充され続けていらっしゃるのかなと想像して居ります。これからも豊かな色彩と温か味のある作品で私達を魅了させて下さい。 2002.9.10 記

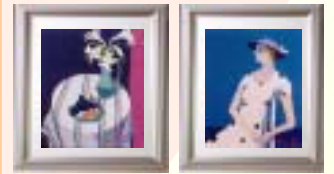


DM作品・紹介Ⅱ

「まだ見ぬヨーロッパの風と光を運んで下さる 修太先生」

広島県安芸郡出身 岡山市在住 岡田みどり

第一回目の広島での展覧会には画廊によく通う私は、いつものように足を踏み入れました。あっといふ色使いに、一瞬！目がとまり、第二回目、第三回目と心待ちにするようになりました。明るくって、伸びやかで、生きる喜びが伝わって来たのです。それは光と風の作り出す色のように、私の心の中に声のない声を届けただけでなく、今、生きてることをしっかりと確認させたのです。原爆で兄達を失って、生きている不思議さに感謝している私に。会場の修太先生からも説明していただき、ただひたすら感心して毎回エネルギーをもらっています。Post cardは買い求め



「円卓のゆり」10F 「ニスの残暑」6F

凍とした美しさと清楚さ！
みずみずしい感性が表現されています。



めて、あちらこちらに出していますが、この・・・エネルギーと心を穏やかにさせる絵に、私の思いを込めている為、受け取った友人達は「気」を感じるようです。ヨーロッパにはまだ行った事はありませんが、ぜひ一度 修太先生の風景のある地に立ってみたいと夢見ています。

“Dream come tree”を信じて！ 又、次会場での絵の出会いを楽しみにお待ちしております。修太先生のすばらしい感性と表現力に、これからも大いに期待しています。どうか、お体をお大事に、ヨーロッパの風と光を運んで下さい。 & 2002.9.1



画家の視線「シリーズ 「旅の楽しみ」



旅の楽しみといえば食事につきます。その国々の文化ともいえる食事！好き嫌いの一切ない私は、旅先ではじめての珍しい料理に出会うと心はワクワクします。フランスの田舎を旅していた時の話です。場末のレストランで地元の人達が利用している店でした。メインのお肉料理に添えられたジャガイモの煮ころがし(フランス風)がとても美味しかったので、そのレストランの太った主人に“あなたの料理は三ツ星レストランの味と遜色ない”と誉めたのです。主人は急に機嫌が良くなり、自分の自慢の料理を次から次へと出してくれるのです。私の胃袋は破裂しそうな状態になりました。もちろん主人のサービスです。皆様も旅先で美味しい料理が出されたら、心から誉め言葉を言えば食べきれないほどの料理がテーブルに並ぶかも知れません。一度お試しあれ！ 森崎 修太



お知らせコーナー

今後の「修太個展」予定

- '02 11/19～11/25 日・・・仙台三越
- '03 1/28～2/2 日・・・札幌三越
- '03 3/27～4/2 日・・・守口京阪
- '03 4/29～5/5 日・・・福岡三越
- '03 7/16～7/22 日・・・神戸阪急
9月(予定)・・・京都大丸

